

指導方法等の改善計画について(教科調査問題 (府中東)小学校)

※自校において、課題を2つ挙げ、最大の課題に★(教科ごと)をつけてください。

	国語科	算数科
全国学力・学習状況調査 正答率	本校 78% 全国平均 64.7% 県平均 66%	本校 80% 全国平均 70.2% 県平均 70%
課題 二つまで	<p>【課題】</p> <p>①★「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(正答率43.6%)」において、文章全体の内容を正確に把握した上で、元の文章の構成や表現を生かしたり、自分の言葉を用いたりして要約することに課題がある。</p> <p>②「文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができる。(正答率43.6%)」において、修飾と被修飾との関係を捉えることができず、文の構成を理解することに課題がある。</p>	<p>【課題】</p> <p>①★「図形の計量について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、筋道を立てて説明をすることができる。」において、基本図形の面積の求め方について理解すること(正答率54.5%)に課題がある。また、平行四辺形の面積の求め方の説明(正答率60%)が十分でなかった。</p> <p>②「商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる。(正答率65.5%)」において、問題場面の数量の関係を適切に理解し、何が被除数で何が除数かを捉えて立式することに課題がある。</p>
課題に対応した各学年での指導内容及び方法	1年 ・「じどうしゃくらべ」などの説明文で大事な言葉に着目し、抜き出せるように指導する。 ・日頃から主語と述語を入れた文で話したり、書いたりするように意識させる。	1年 文章問題を把握するために、お話を作ったり、具体物を操作したりする。文章の中で必要な数を見付け、その数が何を表しているのかを考えさせるよう指導する。印を付け、意識させるようにする。
	2年 ・文の中から主語と述語を見つけたり、主語と述語を正しく使った文を作ったりする学習を、子ども達が意欲的にできるようにICTを活用するなどして継続して行う。 ・普段からノート等に自分の考えを書く習慣をつけ、書くことへの抵抗感をなくすよう取り組む。 ・漢字を覚えることが極端に難しい児童に対して、字形を正しくするためのトレーニングを継続して行う。	2年 ・文章問題の内容を読み取ることができるよう、問われていることや立式に必要な数字等に印をつける習慣をつけることができるよう指導する。 ・掛け算の立式を、数字の操作にしないようにするために、「〇こずつの△こ分」と言葉で表すことができるように指導する。 ・文章問題に書いてあることをテープ図に表すことができるように継続して取り組む。
	3年 ・条件を与えて、文章で表現するような学習活動を授業に取り入れる。 ・ことばのきまりの主語や述語、修飾語などの関係についてドリルタイムなどで練習をする時間を設定する。	3年 図形の学習において、図形を回転させる、向きをかえるなどの操作活動を入れる。図形の面積の公式など基本的な意味付けをしっかりと理解させ、活用できるようにする。図形の中に補助線などを書き込んで考える習慣を身に付けさせる。
	4年 ・条件に合わせて自分の考えを書く力を付けるために、本文の中から筆者の考えにつながる表現を見付けることができるよう、説明文の学習の中で意識付ける。また、文章の中で繰り返し出てくる言葉に注目するようにし、教科書や問題文に印を付けさせるようにする。 ・主述の関係、修飾・被修飾の関係について理解を深めるため、ドリルタイムなどで繰り返し練習を行い、定着を図る。	4年 ・図形を構成する要素などに着目し、公式の丸暗記ではなく、実際の図形から必要な情報を取り出すことができるような問題に取り組ませる。図形を扱う際には、実際に操作する時間を確保し、いろいろな見方ができるようにする。 ・倍の意味について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、問題文を読み何が基準量になっているのかを確実に見付け、計算力を付けることができるようにする。
	5年 ・条件付きで何字以内にまとめる学習を取り入れる。 図表やグラフを文章と結び付けて読み、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする学習を設定する。 ・主語と述語、修飾語と被修飾語の関係を捉えられるような問題をドリルタイムなどの時間等に取り組む。	5年 ・四角形以外の図形の面積では、実際に図形を切ったりくっつけたり移動させたりする操作活動を取り入れ、図形の概念を理解させる。面積の求め方をペアやグループの中で1度は自分の口で説明する機会を取ったりして一人一人の定着を図る場を設定する。 ・文章題では線分図を活用して、問題を解けるようにする。 ・今回の学力調査で正答率の低かった問題に取り組ませ、どのような誤答があったのかを答えから予想させ考えるような学習を仕組む。
	6年 文中の言葉と資料を結び付けて読み、〇字以上で解答するという問題に繰り返し取り組ませる。目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明し、文章を要約する学習を設定する。	6年 ・宿題や東っ子プリント(週末課題)で、単元学習後に繰り返し公式を使って面積を求めさせる。三角形や平行四辺形等の図形を様々な角度から見て面積を求める学習をする。 ・問題文に〇や線を書き込ませる。見直しをする習慣を身に付ける。小数や分数の乗法・除法の授業では、0.1などの単位小数や単位分数の意味と、単位小数や単位分数にあたる数は何か考えさせる。また、そのような内容をドリルやプリントなどで繰り返し練習をする。